



女性大学「夢ふるカレッジ」開校!!

本JAは、次世代を担う女性に学習の機会を提供し、仲間づくりとJA事業への参加・参画する人材を育成することを目的に、女性大学「夢ふるカレッジ」を開校しました。

9月28日、管内在住の20～40代の女性22人を第一期生として迎え、開校式を行いました。この日はJA講座と手芸教室を行いました。

JA講座では菅原総務部長を講師に、協同組合の成り立ちや仕組み、JAの様々な事業について説明。講話を聞いた参加者は「難しい内容だったが、JAの事を知る良い機会になった」と話していました。約20分の講話の後、futuraの佐々木ゆきさんを講師にブライズブドフラワーのアレンジに挑戦しました。



佐々木講師(中)の説明を聞きながらオリジナル作品の完成を目指す参加者

この女性大学では、1期2年間とし、全10回の講義を計画しています。カリキュラムの中には毎回JA講座の時間を設け、若い世代にJAを知ってもらえるよう、取り組んでいきます。



笑顔でフラワーアレンジメントを楽しむ参加者



完成したブライズブドフラワー

方言生かし会話を楽しもう!

大崎市管内JA信用事業連絡協議会(JA古川、JAみどりの、JAいわでやま)は10月14日、大崎市古川の芙蓉閣でJAバンク宮城住宅セミナーin大崎を開き、住宅関連会社などから約50人が出席しました。

この日は、落語家の六華亭遊花さんが講師を務め「なまあって。わらって。コミュニケーション!」と題して講演したほか、JAの担当職員がJA住宅ローンについて説明しました。六華亭さんは、レポーター時代に何気なく出た方言から会話が弾んだことに触れながら「普段からその土地で使っている言葉は相手の心を開いてくれる。時と場合によるが、方言を交えながら会話を楽しんでみて」と呼びかけました。出席者は「会話の中に方言を交えると安心して下さるお客様もいる。今日、学んだことを生かしたい」と話していました。

セミナー終了後には、同協議会の猪股博会長(本JA常務理事)が六華亭さんに「よさ結」の新米と、同米で仕込んだ日本酒を手渡ししました。



方言を交えながら笑いを交えて講演をする六華亭さん